

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 7 日作成)

委員会名	設計の情報化小委員会	主 査 名：榊原克巳
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：河村 廣
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	設計コミュニケーションの高度化技術を調査研究テーマとする小委員会で I T 化の進展に伴う設計上の諸問題を把握し、学会のみならず、J I A や日事連、B C S 等の活動とも連動して有効な解決策を提案、啓蒙活動を行うことを目的とする。小委員会のもとに以下の 3 W G を置き、W G の活動を中心にして、設計実務に密着した調査、研究を進める。	
委員構成 (委員名(所属))	榊原 克巳(グラフィソフト、前日建設)、中元 三郎(安井建築設計)、山脇 陽治(大林組)、山口 重之(京都工芸繊維大)、加賀有津子(大阪大学)、本江 正茂(宮城大学)、鈴木 尚(山下設計)、増村 昭二(日本設計)、山尾 和広(清水建設)、玉井 洋(鹿島建設)、新井 進(竹中工務店)、猪里 孝司(大成建設)、瀧澤 博司(コアシステムデザイン)、丸田 睦(パスプラスワン)、大宮 裕之(ダイテック)	
設置 W G (W G 名：目的)	設計情報化実態調査 W G (CAD 化実態アンケート調査)、 設計先端利用技術調査 W G (先端 IT ツールの調査および実用可能性の検討)、 データ流通ガイドライン作成 W G (契約案のガイド作成)	
2004 年度予算	190,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	・ 4 / 15、4 / 22、6 / 21、6 / 22、7 / 6、8 / 6、9 / 2、9 / 7、9 / 16、10 / 12、10 / 14、10 / 21、10 / 28、11 / 11、11 / 25 小委、W G 参加者 7 ~ 10 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道大会研究協議会「ユビキタス社会における建築と情報の新しいかたち」および「建築設計の情報化、手綱は引くべきか」の原稿</li> <li>・ 「建築雑誌」9月号。“いま伝えたいトピックス 設計業務を拡張する新しい I T ツール ”へ原稿</li> <li>・ 第 2 7 回情報・システム・利用・技術シンポジウムの特別講演会『3 次元 C A D の導入、他産業での変革のポイントは - その手法は建築においても採用できるか - 』の開催</li> <li>・ 第 1 0 回建築 C A D 利用調査報告書(アンケート実施と報告書作成)</li> </ul> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設計ツールとしての会員の関心が 2 次元 C A D から 3 次元 C A D へと変わってきており、それに対する情報提供を適宜行えた。</li> <li>・ 引き続き 3 次元 C A D のテーマを追求すべく、設計に加え、生産の情報化もテーマに加えた小委員会および W G 設置を検討し 2005 年度よりの活動申請を行い承認された。</li> </ul>
その他評価すべき事項	